

令和2年度の首里城復元に係る取組み

沖縄総合事務局

- 令和元年10月31日の火災以降、首里正殿等の復元に向けて、破損瓦等の撤去や焼失した建物の解体等を進めるとともに、首里城正殿遺構等の一般公開を実施。
- 一般公開をはじめとする「段階的公開」、正殿を皮切りとした「首里城復元」、それらの実施を通じた「地域振興・観光振興への貢献」に取り組んでいく。

首里城復元に向けた「3本柱」

段階的公開

首里城復元に向けて進む破損瓦等の撤去や躯体の解体、復元工事の様子を、安全性を確保しながら一般公開を進める。



正殿遺構の覆屋と公開用仮設デッキ

首里城復元

令和4年中の首里城正殿の本体工事の着工に向けて、関係機関と密に連携を図りながら、首里城復元に向けた技術検討委員会での検討を進める。



令和元年度 第3回技術検討委員会

地域振興・観光振興への貢献

首里城の段階的公開、首里城復元に向けたボランティア活動や公園イベントの開催を通して、沖縄の地域振興・観光振興への貢献に努めていく。



首里城赤瓦漆喰はがしボランティア

首里城正殿等の復元に向けた工程表

○ 昨年度に技術検討委員会においてとりまとめた「首里城正殿等の復元の工程表策定に向けた技術的検討に関する報告」(3月17日)も踏まえ、政府において「首里城正殿等の復元に向けた工程表」(3月27日首里城復元のための関係閣僚会議)を決定した。

【令和2年3月27日「首里城正殿等の復元に向けた工程表」(一部抜粋)】

1. 基本的な考え方

前回復元時の設計・工程を踏襲することを基本とし、今般の火災を受けて、防火対策の強化及び材料調達の状態の変化等の反映の観点も踏まえ、工程を定めることとする。

2. 技術的課題に関する方針

(1) 防火対策の強化

① 再発防止策の徹底

二度とこのような火災による焼失を生じさせないよう、今後想定される様々な出火要因に対応するため、文化庁の「国宝・重要文化財(建造物)等の防火対策ガイドライン」を踏まえた再発防止策を講じる。

② 火災の早期発見と迅速な初期消火の徹底

今般の火災では、早期発見と初期消火を徹底することの重要性が確認されたことを踏まえ、首里城正殿に、最先端の自動火災報知設備等の火災の早期発見のための設備や、スプリンクラー設備等の迅速な初期消火のための設備を導入する。

③ 消防隊による消火活動の容易化

首里城が城郭に囲まれた特殊な地形に存在していることを踏まえ、消防隊が迅速に消火活動を行うことができるよう、消火用の水を城郭内に送るための連結送水管設備を導入する。

④ 消火のための水源の確保

「国宝・重要文化財(建造物)等の防火対策ガイドライン」等を踏まえて、貯水槽を増設するとともに、関係機関と連携して消火栓の新設を検討する。

⑤ 世界遺産の構成資産である首里城跡の保護

連結送水管設備の導入や貯水槽の増設等に当たっては、世界遺産の構成資産である首里城跡の地下遺構の保護を前提に設計・施工を行う。なお、この場合、前回復元時の工程から大きな変更は生じない。

(2) 材料調達の状況の変化等の反映

① 木材の調達

往時の首里城に使用されていたと推定されているチャーギ(イヌマキ)及びオキナワウラジログシの活用が望ましいが、前回復元時と同様、これらの樹種は稀少材であり、大量の材の調達は困難な状況である。

このため、首里城正殿の大径材は、前回復元時は樹種の特性を考慮し、代替材としてタイワンヒノキの無垢材を使用したことなどを踏まえて、今回の復元においてもヒノキ科の無垢材を使用する。具体的な樹種は、調達可能性などを踏まえて、国産ヒノキを中心にしつつ、カナダヒノキ、調達可能であればタイワンヒノキも使用することを含めて、引き続き市場調査を行う。

チャーギ(イヌマキ)及びオキナワウラジログシについても、引き続き、調達可能かどうかの調査を継続し、使える材があった場合には、可能な限り活用する。

首里城正殿等の復元に向けた工程表

		(年度)								
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9 以降
正殿	材料調査 (大径材)		<u>市場調査</u>							
	設計		<u>基本設計</u>	<u>実施設計</u>						
	材料調達 (大径材)			<u>調達・乾燥</u>						
	工事	<u>仮設道路</u> <u>がれき撤去</u>		<u>木材倉庫</u>	<u>発注手続(WTO)</u>		<u>本体工事</u>			
北殿、南殿等			<u>撤去</u>	<u>正殿復元の施工ヤードとして使用</u>						
			<u>検討</u>	-----	-----	-----	-----	-----	<u>工事</u>	

令和2年度の技術検討委員会では、昨年度にとりまとめた「首里城正殿等の復元の工程表の策定に向けた技術検討に関する報告」(3月17日)や首里城復元のための関係閣僚会議で決定された「首里城正殿等の復元に向けた工程表」(3月27日)を踏まえて、以下の事項についてご検討いただきたい。

(1) 昨年度の委員会報告で示された、以下を含む検討事項

- ① 首里城全体で今後整備すべき防火設備の具体的な内容
- ② 正殿の復元に用いる木材(構造材等)の樹種等
- ③ 前回復元後に確認された新たな知見への対応

(2) その他正殿の復元に係る設計条件(仕様・手法)等